

コース改修に関するイノベーションと傾向

ジェフリー・D・ブルーム
ASGCA

5th Golf Innovation Symposium

USGA®

プレゼンテーション概略

- はじめに : Jeffrey D. Blume, Limited
- ASGCA『Market Trend Watch』調査
- 改修に関するイノベーションと動向
 - バンカーの改修と縮小
 - 芝の面積の縮小
 - 官民連携：
雨水の管理
 - ティー・イニシアティブ
 - これからの施設



Jeffrey D. Blume, Limited

- ゴルフ場の新規設計、改修、マスタープラン作成において30年以上の経験を有するゴルフ場設計企業
- 加入団体: アメリカン・ツサイエティ・オブ・ゴルフ・コース・アーキテクト (ASGCA)
 - ASGCAプレジデント、2018～2019年
 - ASGCA理事、2013年～現在
- 加入団体: ヒューストンゴルフ協会 - Shellヒューストンオープン、1997～2016年
 - トーナメント総委員長、2009、2010年
- USGAの建設教育、Green Section、パッティング・グリーン・ガイド、Pace of Playへの参画



設計の傾向：1980～1990年代

ゴルフ場建設ブーム

- 米国ではゴルフの住民コミュニティ施設や日額利用施設が盛んに
- 日本では従来の民間施設の人気が続く
- 両国で環境に対する意識が向上
- 主に水利と維持管理機器の効率化とイノベーション
 - 日本は「ツェグリン」レイアウトと従来品種の芝生からの脱却を開始
- プレーのしやすさよりも美観や印象を重視した難しいレイアウト
- 困難な現場状況に対する日本の工学的ソリューションは世界の憧れ



設計の傾向：2008年～現在

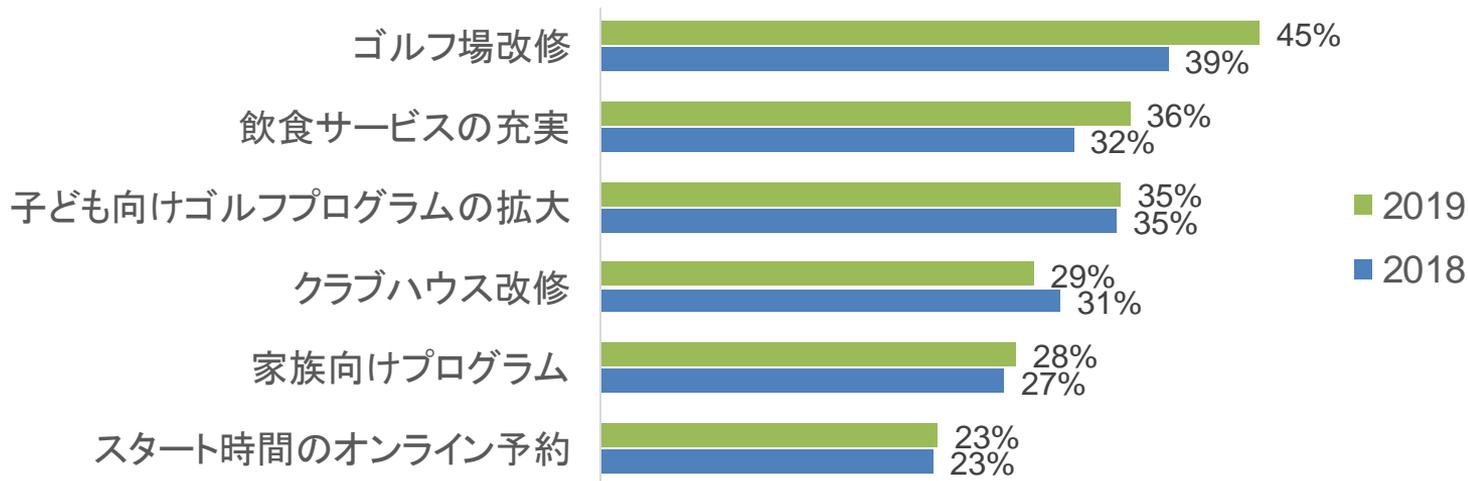
- 推進要素：効率性と持続可能性
- 新しいコースの設計は非常に限定的
- 環境への配慮と資源管理
- 水利と維持管理機器の効率化とイノベーションの継続に以下の関連製品も寄与
 - 自動化
 - バンカーの維持管理と長寿命化
 - 持続性の高い種類の芝生
- 原点に立ち戻り、プレーのしやすさを第一に考える設計とし、すべてのレベルのプレイヤーにとって心地良い、楽しめるゴルフ場にする





2019年、ゴルフ場運営者からの拡張要求に応じ、 コース改修の需要がさらに拡大

なんらかの拡張をする場合、ゲストや会員の関心が最も高い、または施設の利用度向上につながると思われるのはどれですか。





2019年、ゴルフ場運営者からの拡張要求に応じ、 コース改修の需要がさらに拡大

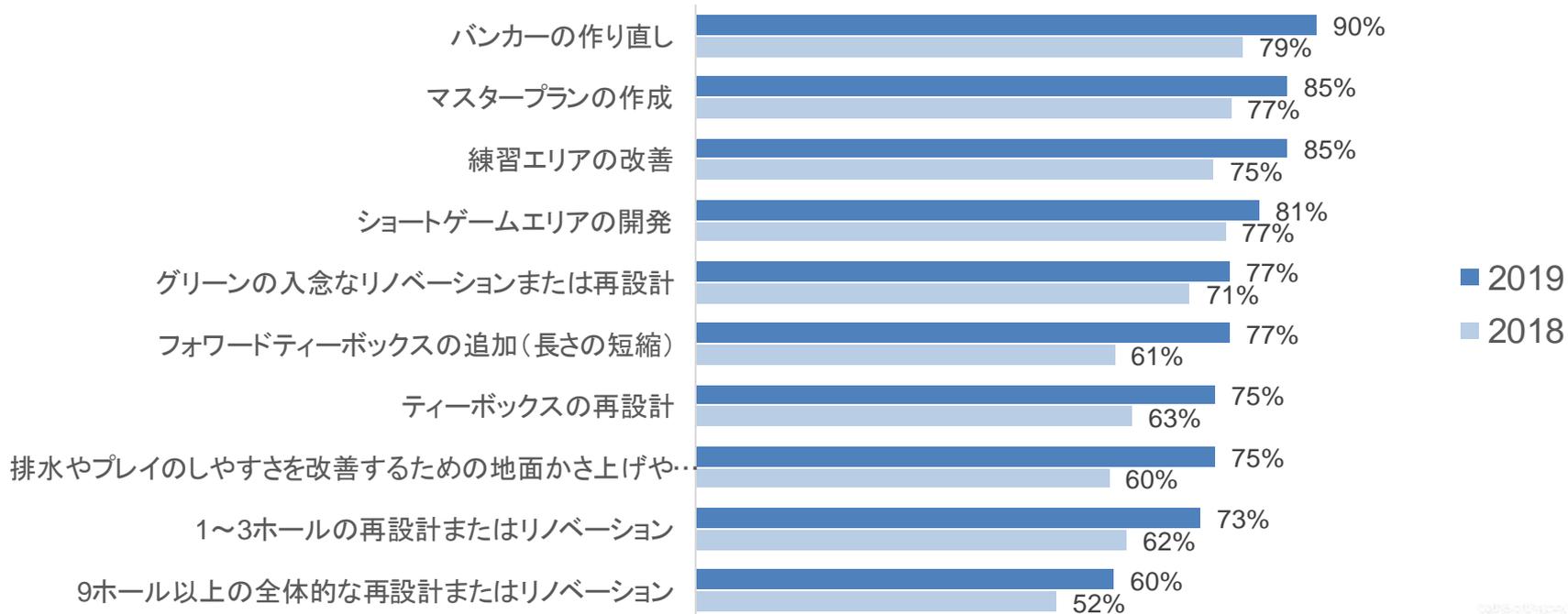
なんらかの拡張をする場合、ゲストや会員の関心が最も高い、または施設の利用度向上につながると思われるのはどれですか。

最も関心が高いと思われる拡張の概要	パブリック		プライベート	
	2019	2018	2019	2018
ゴルフ場の改修	39%	40%	47%	37%
飲食サービスの充実	33%	31%	36%	33%
子ども向けゴルフプログラムの拡大	30%	36%	37%	33%
クラブハウスの改修	25%	30%	29%	32%
家族向けプログラム	23%	27%	31%	28%
スタート時間のオンライン予約	30%	23%	17%	20%



改修プロジェクトの内容が多様化し 従事する設計士の数も増加

過去24か月間に携わったプロジェクトの内容を教えてください



改修のイノベーションと動向

1980年代と1990年代のブーム期に建設された日本のゴルフ場の多くは、現在、インフラの改良と改修が必要な時期を迎えている

- 今日のコース設計と建設におけるイノベーションは、効率性と持続可能性を重視
- 水利、排水システム、維持管理の機器と実践、バンカー造成
- 下記を含む多様なバンカーライニング手法
 - バンカー構築手法
 - サンドとラッパー
 - Better Billy式バンカー



改修のイノベーションと動向

バンカーの縮小

多数のクラブが人件費の削減による維持管理効率化の取り組みで、バンカー面積を縮小

- 適切に実施すれば、プレーのしやすさや設計の意図を損なうことなく維持管理の効率性が向上
- ライニング手法の併用により、排水性と寿命が劇的に改善
- バンカーの除去、または大きいバンカーを小さなバンカーに分割し、縮小を実現するのが一般的



改修のイノベーションと動向

バンカーの改修と再生

バンカーの縮小は新しい設計や修復によるコースの美観の改修、リフレッシュ、再活性化につながる



改修のイノベーションと動向

芝の面積の縮小

資源管理はゴルフ場の持続可能性を左右する最大の要素であり続けており、多くのクラブが、排出と維持管理費の削減のために、芝の植え付け面積の最小化を目指している。

- この傾向は米国南西部の砂漠地帯で水の保全のために始まり、全米に拡大
- 水と燃料の保全、肥料と化学品の使用の最少化、野生動物の生息場所の確保
- 大半のゴルフ場には定期メンテナンスのためにプレーに使われない部分が多いため、適切に実施すれば、芝の面積縮小によって問題が増えることはない

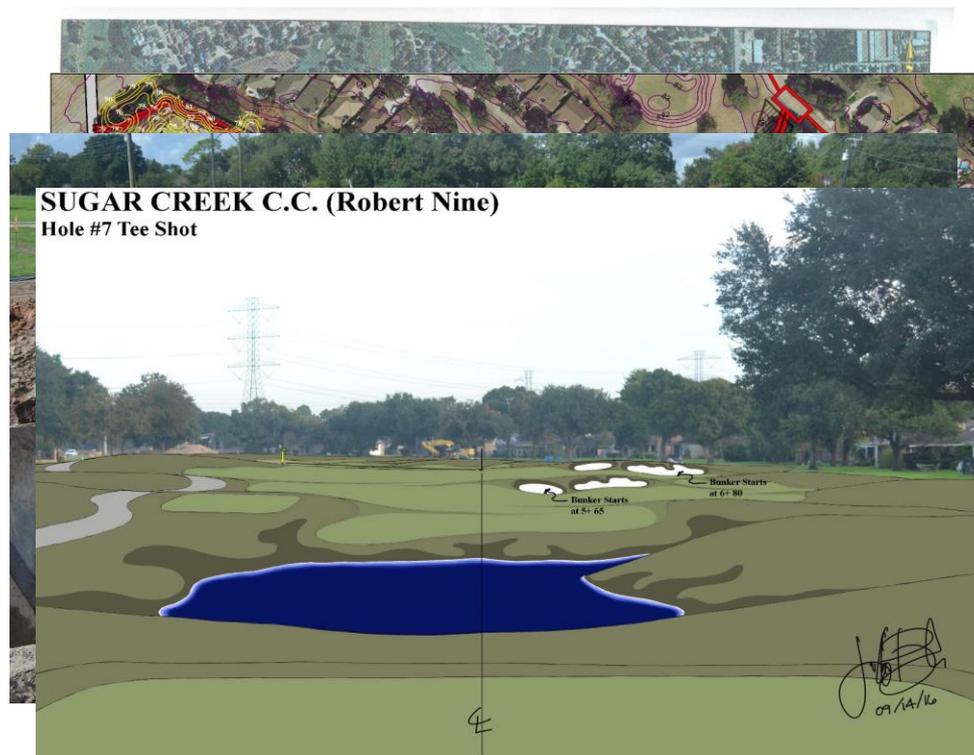


改修のイノベーションと動向

官民連携

都市化が継続しており、空き地も減っていることから、公的機関は下記を含む多くの理由によりゴルフ場との連携を検討中

- 雨水の貯留
- 雨水の送水
- 若者向けレクリエーション
- 野生生物および環境の回復
- 資源管理



改修のイノベーションと動向

ティー・イニシアティブ

現在、多くのクラブがティーの場所などを自由に選べるようにすることを検討中

- 長距離化ではなく短距離化
- コースの長距離化の対象となるのはプレイヤーの5%未満
- 難しさよりも楽しさ
- 規定コースでショートコースのプレーが可能に
- ロングリーフ・ティー・イニシアティブ

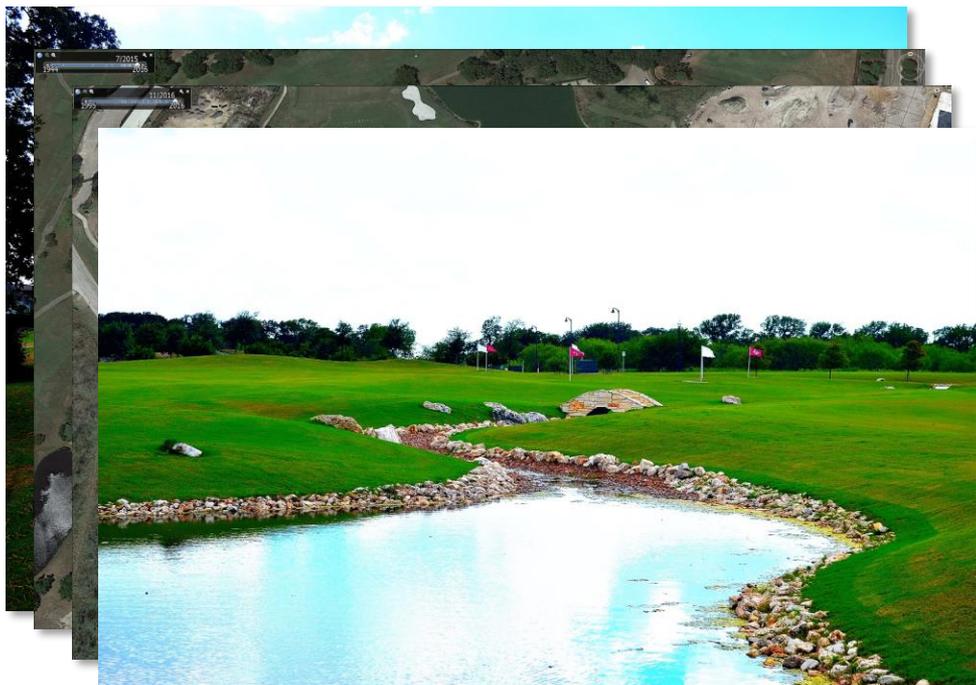


改修のイノベーションと動向

これからの施設

ゴルファーがより充実した時間を過ごすことができ、ゴルフ場運営者の柔軟性を最大に引き出せるような施設が求められている

- ショートゲームエリア
- 多用途の練習施設数をショートコースの約2倍にできる
- こうしたエリアはゴルフ以外のイベントにも利用可能になる
- ゴルフコースの周回距離が短くなることで、プレーヤーはコースを短時間で回ることができ、他の料金オプション提供も可能になる



前途

現実に即し、存続可能で、活力あるゴルフの発展を維持するために必要なこと

- 施設の更新と最新化：
 - 潜在顧客にとっての魅力の向上
 - 運営の効率と持続可能性の向上
 - オーナーと運営者の経済的成功の実現
- 顧客の継続利用を促す優れた利用体験の創出(特に米国)
- 環境と持続可能性の問題に対応し、主導的な役割を継続
- コミュニティに、ゴルフが持つ物理的、社会的、経済的なメリットを伝達



ありがとうございました!

5th Golf Innovation Symposium

USGA®